

# コープニュース CO-OP NEWS

発行所  
株式会社 コープニュース  
〒107-0062  
東京都港区南青山2-4-4  
フォンテル青山ビル2階  
電話 03-3478-0831  
FAX 03-3478-0806  
購読料 年間18,540円(送料税込)

3月10日 火曜日  
2009年(平成21年)  
毎月10日発行  
第166号



産直米も積極的に売り込み

ブランド名に地名、生産過程も紹介  
それぞれが、産直をより鮮明にPR



## スーパーマーケット トレードショー

千葉の業者は、生産者を顔写真で紹介  
企業も、独自の「生産者の顔が見えるサービス」をPR。生鮮品物流のシステム開発会社のイーサポートリンク(本社・東京都豊島区)は、生産者が、生産品の栽培層や農薬等の使用履歴を入力し、それを消費者が閲覧してから購入できるネットワークシステム「農場物語」を紹介したほか、次世代型のネットスーパーシステムや、地域の生産者と密接につながった宅配サービスなどが数多く見受けられた。

マスタードで味わう  
シューマイなどを発表  
フリーデン

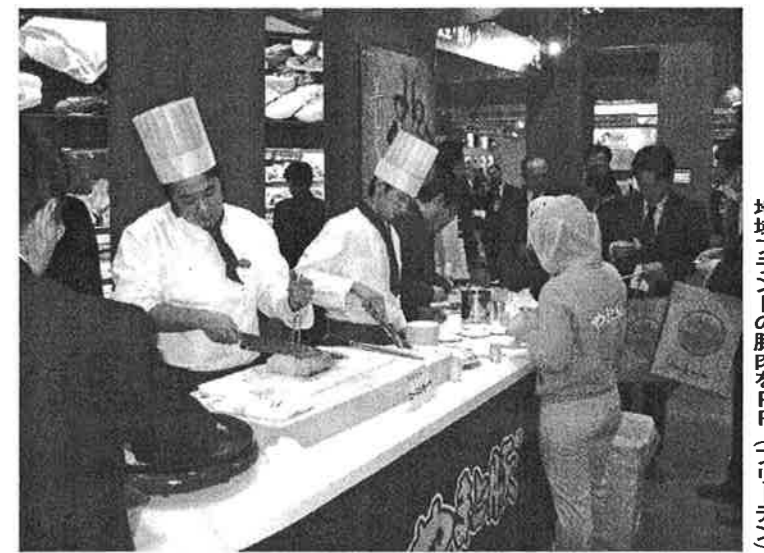
ヤマト豚をメインとする食肉加工会社・フリーデン(本社・神奈川県平塚市)は、「第43回スーパーマーケットトレードショー」で、マスタードをつけて味わうシューマイ「倭焼売」をはじめ、カラーゲンをつたつぷりに含んだソーセージなどの新商品を展示した。

「倭焼売」は、肉の密度を高くして、本来の肉の旨みを凝縮したもの。和がらしでは旨みが逃げてしまうので、マスタードで食べるように工夫した。ソーセージのような感覚で味わえるため、試食した来場者に好評で、外食産業のバイヤー等の注目を集めた。

同社の小俣勝彦常務取締役は、「消費者は当社に対して、常に安全なもの求めているので、どんなに不景気であっても、その期待に応えられるものを提供していきます」と話している。



マスタードで味わう「倭焼売」



地域ブランドの豚肉をPR(フリーデン)

食品スーパーを中心とする流通業界に、食品メーカーや関連業者が情報を発信する「第43回スーパーマーケットトレードショー」は、「創ニッポン」をテーマに開かれた。出展数は、1077社(うち海外から18社)、会期中、計7万8000人が会場を訪れて、連日、大賑わいとなった。

今回の特徴は、地方からの参加が急増したこと。地方の金融機関や自治体が、積極的に地元企業の活性化事業を行い、それらの企業を取りまわって共同出展する形で参加したため、400社以上の地方企業が、日ごろの製品開発の成果を披露した。

千葉の業者は、生産者を顔写真で紹介